

世界の水を蘇らせるために

住友電工グループが開発した「ポアフロン®膜分離排水処理装置」。

高い性能と耐久性が評価され、現在日本国内はもとより中国・アジアを中心にグローバルに展開されています。

環境保全はもちろん、処理水の再利用により省資源にも貢献する本製品についてご紹介します。

世界の水をめぐる
さまざまな課題解決に
製品で貢献していく

お客様のニーズに、 独自の技術と製品で応える

「ポアフロン®モジュール」を用いたポアフロン®膜分離排水処理装置は、当社グループの技術が生み出したPTFE（四弗化エチレン樹脂）膜を使った排水処理装置です。膜を組み合わせることで、従来の標準活性汚泥法よりも高濃度の活性汚泥で処理でき、安定した処理水質が得られるほか、耐久性と耐薬品性に優れているため薬品洗浄が可能。メンテナンスの負担も軽減されます。また本製品の強みは、お客様の用途、設備に合わせて設計できることです。現在、工場やビル、商業施設など国内外のさまざまな場所で導入されています。



当社大阪製作所で稼動する排水処理装置



水処理事業開発部 技術部 装置グループ長 西浦 隆幸

ポアフロ[®]膜分離排水処理装置



私の部署は設備立ち上げ段階の、装置の設計に携わっています。設置後の性能確認や定期点検などアフターサービスにも対応し、規制も含めて対応が難しくなっている排水をめぐる現状にお客さまとともに向き合っています。特に海外のお客さまは、その土地の最新基準に沿った厳格な仕様が求められます。排水の処理品質は、工場の操業自体をも左右する重要な問題だからです。



装置の稼働状況を点検

グローバルな水問題に これからも向き合っていく

排水の水質問題は、いまや世界中で社会問題となっています。本製品は今後も改良により、水をめぐるさまざまな問題に貢献できる可能性があります。現在、アジア中心に展開し、難しい排水処理の要求される工場への導入が進んでいますが、本製品は安定した処理性能で対応し、川や海の汚染防止に役立っています。

気候変動問題、人口増加や新興国での経済発展などにより、世界中で水不足が顕著になっています。これからもグローバルな住友電工グループの力を結集させ、水の再利用をテーマに社会に貢献していきたいと思っております。

カイハラ株式会社に ポアフロ[®]膜分離排水処理装置を納入

高級デニム素材の大手メーカーであるカイハラ株式会社の広島・吉舎、タイ・ラチャブリー工業団地内工場に、本装置を納入しました。導入にあたってはカイハラ株式会社と株式会社仲友と共同で、実際の排水を使った実証実験を一年半にわたって実施。それぞれの工場に採用され、2015年に稼働を開始しました。これに



吉舎工場の排水処理装置

より工場排水の安定的な処理が可能となり、さらに産業廃棄物、エネルギーコスト、設置面積の低減など、大幅な改善を実現しました。



タイ工場の排水処理装置